

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 音戸工作所 八本松工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市八本松飯田1丁目1番1号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 3113

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成26年度から平成30年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	
エネルギー 起源CO ₂			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー 起源CO ₂			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
フロン類			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 実排出量総計			0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス みなし排出量													
実績に対する 自己評価													

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **生産量 [鋼材使用量]** 単位：t

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成19年度	平成30年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
エネルギー 起源CO ₂	0.208	0.202		0.311				
		3.0		-50.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フロン類		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.208	0.202		0.311				
		3.0		-50.0	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.882	0.850		1.089				
		4.0		-23.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	弊社の主要製品が重量鋼材の重い板金系部品から重量の軽い機械系部品へ移行している。その為、機械系部品の増産傾向に伴い、原単位も増加傾向になっている。							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 燃料使用量の削減	前年度比 1%削減 (使用鋼材の単位重量当たり)	○低燃費車への切替え ○暖房機具を使わないタイプへ切替え ○フォークリフトの電動化
2 電気使用量の削減	前年度比 1%削減 (使用鋼材の単位重量当たり)	○冷暖房の適正管理 ○休憩中の照明切の徹底 ○省エネ型電気機器への切替え ○高性能インバータ制御
3		
4		

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

種類	合計量
1	
2	
3	

○ その他の取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 クーラントポンプ インバータ化	エネルギー使用合理化期待効果 3KL/年	コンプレッサの更新による、インバータ制御
2 ダクトファンモーターインバータ化	エネルギー使用合理化期待効果 1KL/年	コンプレッサの更新による、インバータ制御
3 油脂類の購入削減	購入量を原単位で年間5%削減	リサイクル

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。